

2020年度 事業報告

◆ 目的

Jens-netは、環境NPOリーダー海外研修で学んだドイツ最大の自然保護団体NABU(ドイツ自然保護連盟)をひな型に、全国各地の第一線で活躍する環境活動実践者が集う当会の強みを活かして、社会に対して影響力のある組織づくりを目指す。

2020年度は、新事務局体制の確立と、アーカイブ作成事業、日本環境NPO会議企画準備などを通じて、内外に発信し交流していくための組織作りに重点を置いた。

※Jens-Netの活動目的

- (1)環境の改善に向けた調査研究及び政策提言
- (2)地域の環境活動を実践する団体・個人の支援及び活性化
- (3)環境活動を実践する者のネットワーク化及び情報提供
- (4)その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

◆ 事業

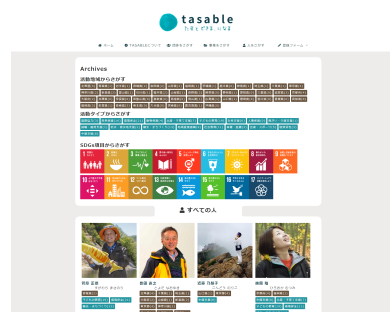
①アーカイブ作成事業(ネットワーク構築事業) /活動目的(3)および(2)

主に環境活動に関わる人や団体などを掲載するアーカイブサイトの名称が「TASABLE(たさぶる)」と決まった。また、TASABLEの運営に関わる会員も増えてきたため、役割分担をしながら一般公開に向けて準備を進めた。

仮サイト: <http://nomori.xsrv.jp/acvtest4/>



TASABLE仮サイトのトップページ



人を紹介するページ

[TASABLEの目指すもの] ※参考

TASABLEは、環境活動分野における活動及び人づくりの着実な推進に向けて、地域と関わりを持ちながら様々な活動を実践している人たちがつながり環境活動の輪を広げていくための人材プラットフォームです。

国内で環境活動をリードする人材がウェブとリアルの両方で繋がることのできる「場」をつくり、その人材の活動状況などを「見える化」し、交流の促進や活動の継続・拡大を支援していくことを目的としています。

②「日本環境NPO会議(仮称)」企画準備 / 活動目的(1)

日本環境NPO会議の開催について、2020年度に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年に延期をした。

また、理事会で検討した結果、2021年に実施するとしても、直接集まっての開催は難しいだろうという結論に至り、開催する場合にはオンラインで実施することにした。

会議の名称や目的についても、アーカイブ作成事業のTASABLEに絡めて、登録者の拡大や登録者同士の交流の機会にするなどの工夫をしていく方針とした。

③会議研修事業を通じて形成されたネットワークの強化 / 活動目的(3)

【リーダーサミット(九州ブロック)】

今年度、試験的に九州ブロックで開催予定だったリーダーサミットについて、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、第5期(2020年度)には実施に至らなかったが、調整の結果、3月末に開催する予定となった。

[課題]

今後、ブロックごとでの集まりや新規事業を行ううえで、理事だけに頼らず、ブロック担当の運営委員(仮)の設置を検討する

【22期生 環境NPOリーダー海外研修報告会】

例年は定期総会に合わせて開催していたが、今年度は定期総会が急遽オンラインでの開催となり、準備が間に合わなかったため、10月17日(土)に22期生5名による報告会をzoomにて開催した。

【年末zoomミーティング】

12月21日(月)に、オンラインで、会員同士の交流を兼ねて、次年度の企画について考える会を実施した。(参加者:12名)

オンラインを活かした年間講座の開催や、Jens-Netメンバーによる10分プレゼン大会、希望者を募ってのプログラム体験ツアーの実施などのアイデアが出された。

【zoomの活用】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各団体においてもオンライン会議が進んでいることを受け、Jens-Net会員のうち希望した人にzoomのProアカウントを一時的に付与できる体制をつくった。

【課題】

会員向けメーリングリストで何回かアナウンスしたが、今のところ希望はほとんど無い状態ではある。

④新事務局体制を会員をあげてサポートしていく / 活動目的(4)

6月より事務所を静岡県静岡市から長野県塩尻市に移動し、事務担当も今永正文さんから山田 勇に変更した。

【課題】

会員情報の管理や連絡調整などを効率化するためにITツールの活用を検討する

◆ 管理運営

①総会及び臨時総会の開催と運営

【総会】

日時:2020年5月12日(火)13:30~15:00 zoomにて

参加者数:55名

内容:事業・決算報告/役員改選/

定款の変更(事務所変更:静岡県静岡市→長野県塩尻市
書面表決に電磁的方法を追加)

【臨時総会】

日時:2020年11月16日(月)20:00～21:30 zoomにて

参加者数:58名

内容:定款の変更(会計年度変更:3月1日～2月末日→5月1日～4月30日)

②理事会及びパートナーシップ会議の開催と運営

【理事会】

今年度はzoomで開催した

7月20日、11月9日、2月22日

【パートナーシップ会議】

今年度はzoomで開催した

8月28日、9月3日、10月27日、2021年1月26日

【オンライン理事ミーティング】

zoomを利用したオンライン上での会議

6月9日、6月29日、9月3日、10月22日、12月7日、1月6日、1月20日

③図書の販売・管理

「海外研修成果発信冊子」のPR・販売、会計や販売状況の把握、在庫管理を行う

今年度は販売する機会もなく、売り上げはなかった

現在の在庫数:42冊

「藁科川散策絵地図」については、当時の担当者の今永さんに有効活用していただけるように、管理していただいているが、今後は今永さんに寄付をして、地元の団体・学校などに寄付するなどして活用していただく方向で検討を進めた。

◆ 事務・会計

①会員管理(個人データ管理・更新など)

現在はエクセルを活用しているが、今後よりよい管理方法を検討していく必要がある

②ホームページ・ML運営

ホームページ及びSNSの運営ができていないのが課題

TASABLEとの相乗効果を図れるように、今後、更新に力をいれていく

③確定申告書の作成提出、納税

今年度は事務局引継ぎの時期と重なったため、理事を中心に実施した

④パートナーシップ協定の更新手続き(書類作成及びパートナーとの打合せ等)

2020から2023年3月末日までの3年間のパートナーシップ協定をセブン-イレブン記念財団と締結

環境活動にかかわる人材のネットワーク化及び情報提供に関わる事業への期待が大きいことを確認した

⑤セブン-イレブン記念財団助成申請手続き(書類作成及びパートナーとの打合せ等)

2020年度の申請については、助成確定までにとても長い時間がかかったが、2021年度については、予定時期内に助成確定できるように準備・調整を進めた

⑥パートナー及び関係者との連絡調整等

セブン-イレブン記念財団の松井事務局次長及び、助成担当の羽鳥さんと随時連絡を取った

⑦会計

今までは、会員の会計王を活用していたが、Jens-Netとして購入し、入力を行った